

株式会社 KIT



 **RADEN**

**DB2 for i 接続プラグイン
ユーザーズガイド**

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『RADEN DB2 for i 接続プラグイン』をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本書ではプラグインの使用方法について説明します。

著作権および商標について

RADEN は、(株) KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

DB2・DB2 for i・AS/400・iSeries は、IBM の米国、および その他の国における商標、または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2016 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.

目次

1.	DB2 for i 接続プラグインについて.....	1
2.	前提条件	1
3.	追加される部品.....	1
4.	プラグインを使用する.....	2
4.1	部品の配置.....	2
4.2	接続の設定.....	3
4.3	データベースとの接続	4
4.3.1	データストアとの接続	4
4.3.2	テーブル情報の取得	5
4.3.3	テーブル情報の更新	7
4.4	データベースとの切断	8
5.	部品リファレンス.....	9
5.1	DB2i 接続	9

1. DB2 for i 接続プラグインについて

DB2 for i 接続プラグインは、AS/400・iSeries 上の DB2 に接続する機能を RADEN に追加するプラグインです。

DB2 データベースに接続し、データの取得・更新が出来ます。

2. 前提条件

DB2 for i 接続プラグインを使用する場合、コンピュータに以下のソフトウェアを導入しておく必要があります。

- ・ IBM iAccess for Windows
もしくは
- ・ IBM i Access Client Solution Windows アプリケーション・パッケージ

※上記ソフトウェアは IBM 社より提供されております。

3. 追加される部品

DB2 接続プラグインをインストールすることで、以下の部品が使用可能になります。

種類	名称	概要
プレースホルダ	DB2i 接続	AS/400・iSeries 上の DB2 に接続する部品です。

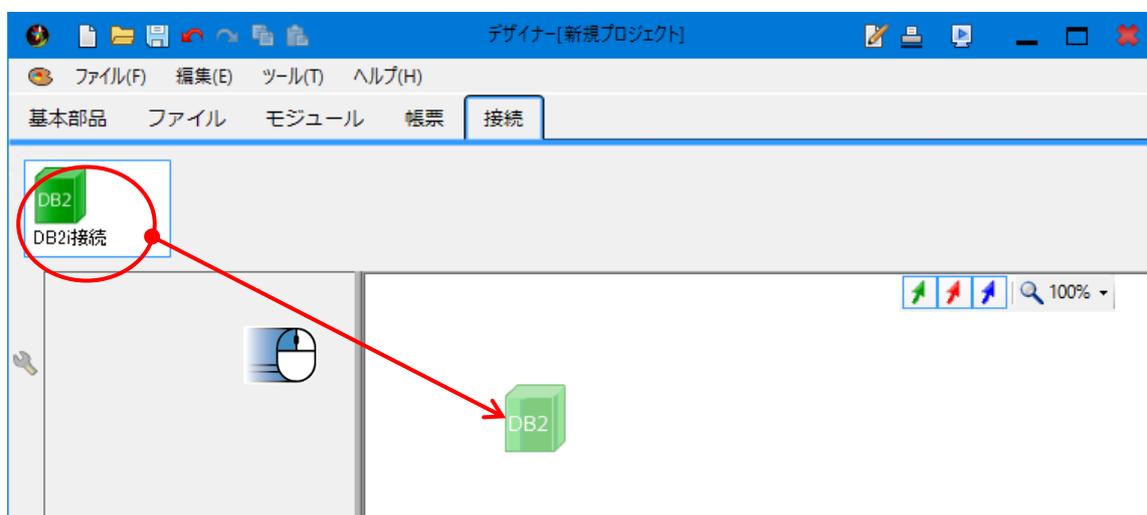
4. プラグインを使用する

この章では、DB2 for i 接続プラグインの基本的な使い方を説明します。

4.1 部品の配置

RADEN デザイナーのオブジェクト関連図に接続部品を配置します。

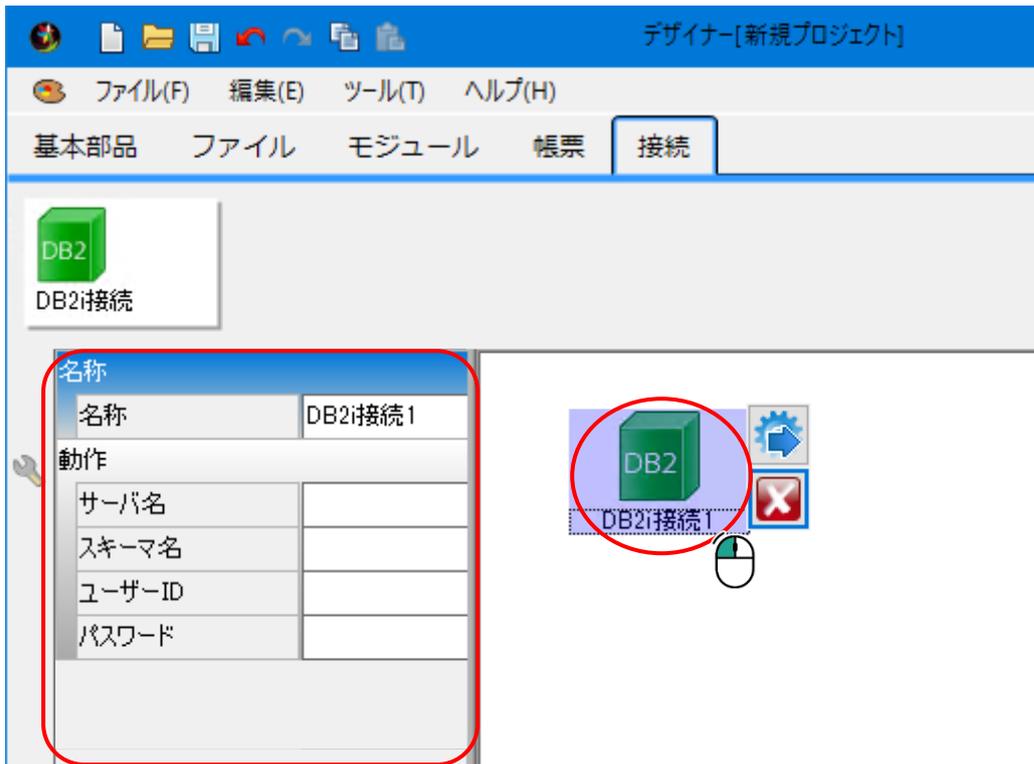
「画面」や「ファイル入力」等の RADEN の他のオブジェクト部品と同様に、部品パレットからオブジェクト関連図エリアに接続部品をドラッグ&ドロップします。



4 プラグインを使用する

4.2 接続の設定

DB2 for i と接続するための設定は、接続部品のプロパティで行います。
オブジェクト関連図に配置した接続部品を選択すると、RADEN デザイナーのプロパティグリッドに設定項目が表示されます。



接続に必要な項目をプロパティから設定します。

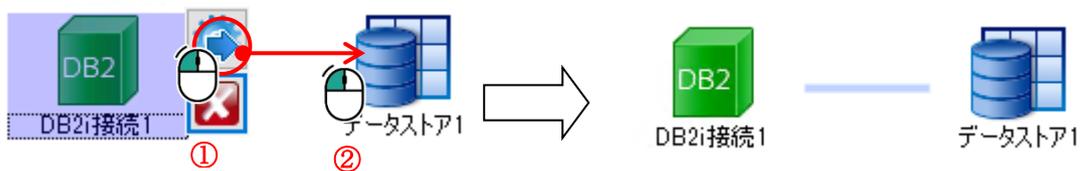
設定内容の詳細は、「5. 部品リファレンス」をご参照下さい。

4.3 データベースとの接続

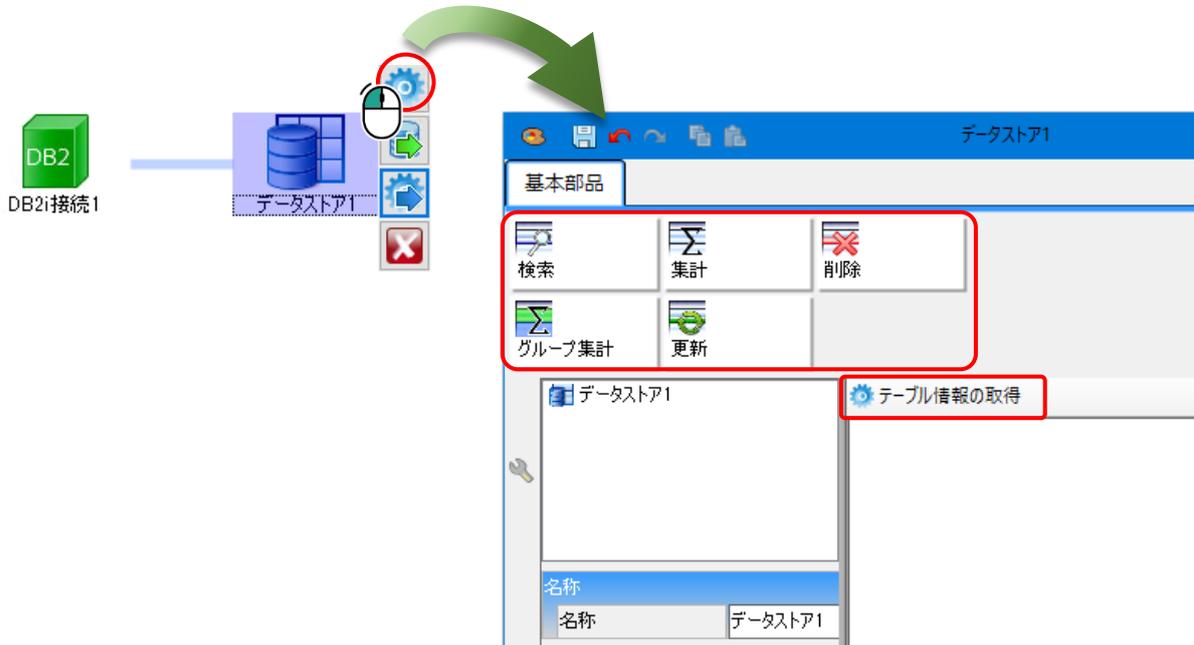
DB2i 接続部品は、データストアと接続して使用します。
DB2i 接続部品とデータストアを参照コネクタで接続することで、接続されたデータベースの情報を使用できるようになります。

4.3.1 データストアとの接続

DB2i 接続部品からデータストアへ、以下の様にして参照コネクタを接続します。



DB2i 接続部品を接続したデータストアは、接続先のデータベースを扱う専用のデータストアとなります。そのため、標準のテーブル部品（一時テーブル/テーブル）は使用できなくなります。部品パレットには、テーブル部品が表示されなくなり、クエリのみ表示されます。



テーブルは接続先のデータベースのテーブル情報を参照して使用します。使用方法は次項で説明します。

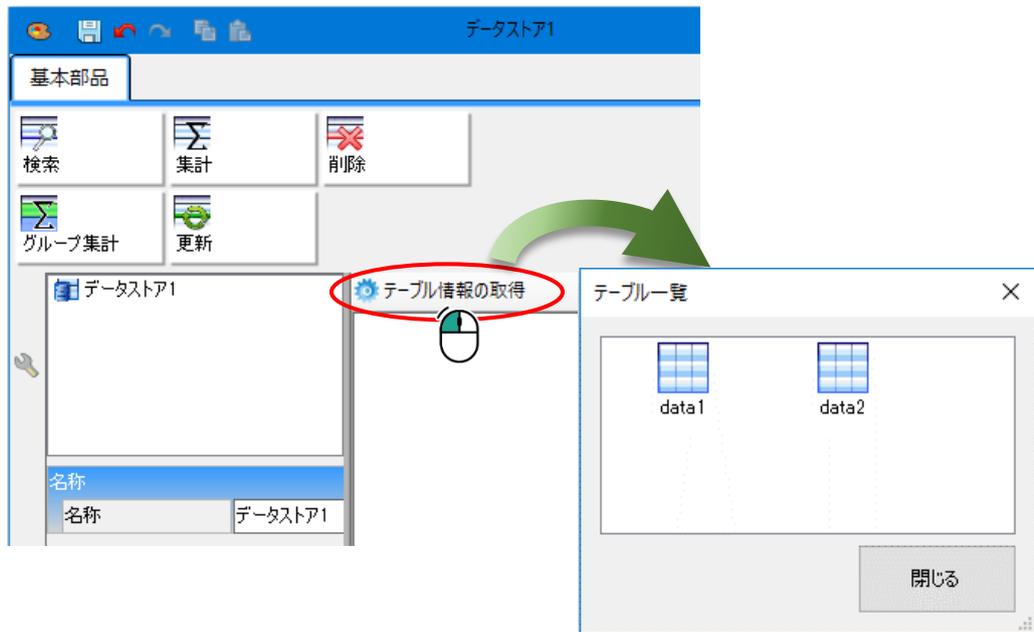
4 プラグインを使用する

4.3.2 テーブル情報の取得

DB2 と接続中のデータストアでは、接続先のデータベースファイルからテーブルの情報を取得して、使用します。

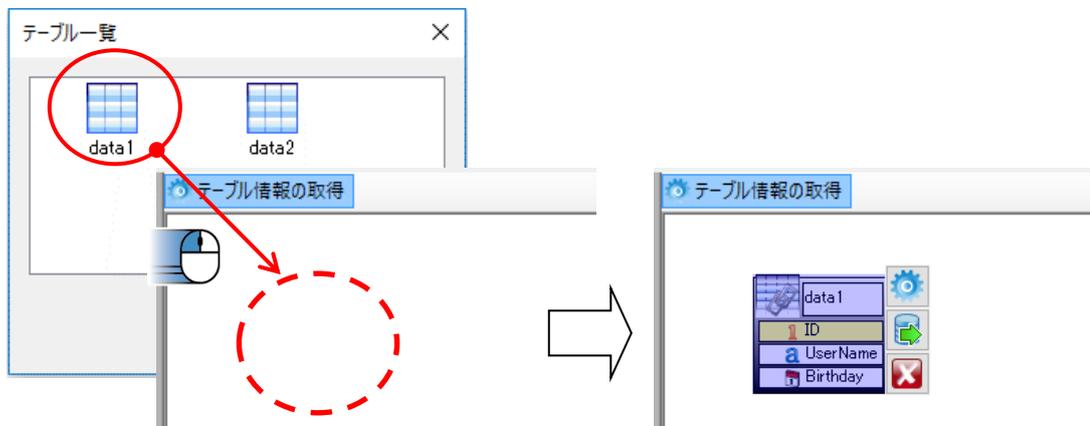
テーブル情報は、以下の手順で取得します。

- (1) データストア編集画面の「テーブル情報の取得」を選択します。



テーブル一覧画面が表示されます。

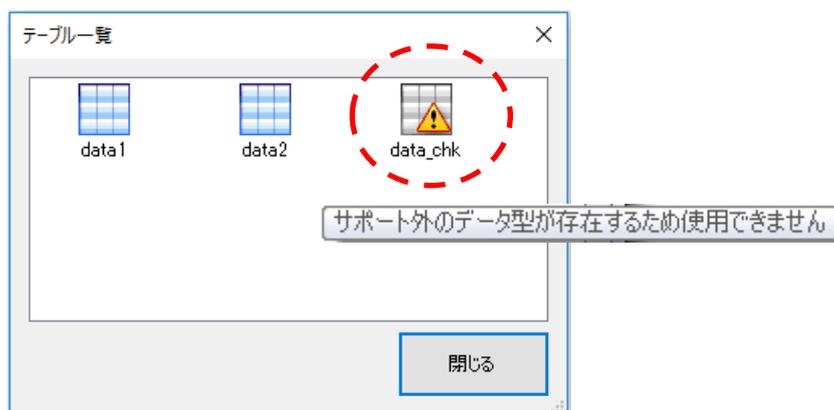
- (2) テーブル一覧画面から、使用したいテーブルをデータストア編集画面にドラッグ&ドロップします。



データストアのオブジェクト編集エリアにテーブルが配置されます。

取得したテーブルは、標準のテーブルと同じように、データの追加・更新・削除といった操作を行えます。ただし、RADEN 側からテーブル構造の変更は行えません。

サポート外のデータ型を含むテーブルが存在する場合、RADEN では使用できません。



データ型対応表

属性	DB2	RADEN		備考	
	データ型	サポート	データ型		
文字	CHAR (n)	○	文字列		
	VARCHAR (n)	○			
	LONG VARCHAR	×		—	
	CLOB	×			
	GRAPHIC	×			
	VAR GRAPHIC	×			
	LONG VARGRAPHIC	×			
	DBCLOB	×			
数値	INTEGER	○	数値		
	SMALLINT	○			
	BIGINT	○			
	NUMERIC	○			
	REAL	○			
	DOUBLE	○			
日付	DATE	○	日付		
	TIMESTAMP	○			
	TIME	○			
バイナリ	BLOB	×	—		

○：使用できます、△：RADEN 内では異なるデータ型で扱われます、×：使用できません

4 プラグインを使用する

DDS データ型対応表

DDS		RADEN		備考
型記号	タイプ	サポート	データ型	
P	パック 10 進数	○	数値	
S	ゾーン 10 進数	○		
B	2 進数	○		
F	浮動小数点	○		
A	文字	○	文字列	
L	日付	○	日時	
T	時間	○		
Z	タイムスタンプ	○		
H	16 進数	×	-	
J	DBCS 専用データ	○	文字列	
E	DBCS 択一データ	○		
O	DBCS 混用データ	○		
G	DBCS グラフィックデータ	○		
5	バイナリ文字データ	×	-	

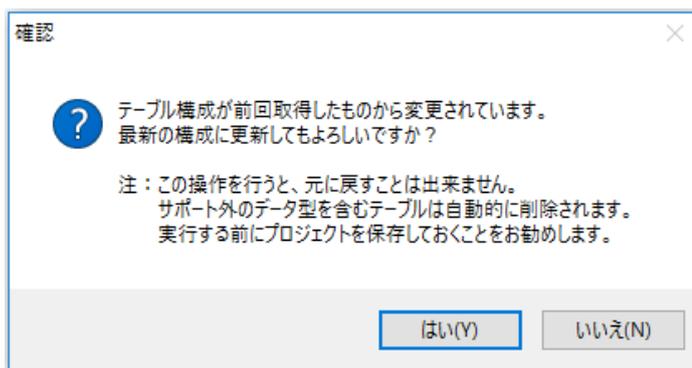
○：使用できます、×：使用できません

4.3.3 テーブル情報の更新

接続先のデータベースのテーブル情報が変更された場合、対応するテーブルの情報も更新できません。

データベースの構成が変更された状態で「テーブル情報の取得」を行うと、自動的にテーブル構成の比較が行われます。

変更が見つかった場合、以下のメッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、参照テーブルの情報が最新のテーブル構成で更新されます。

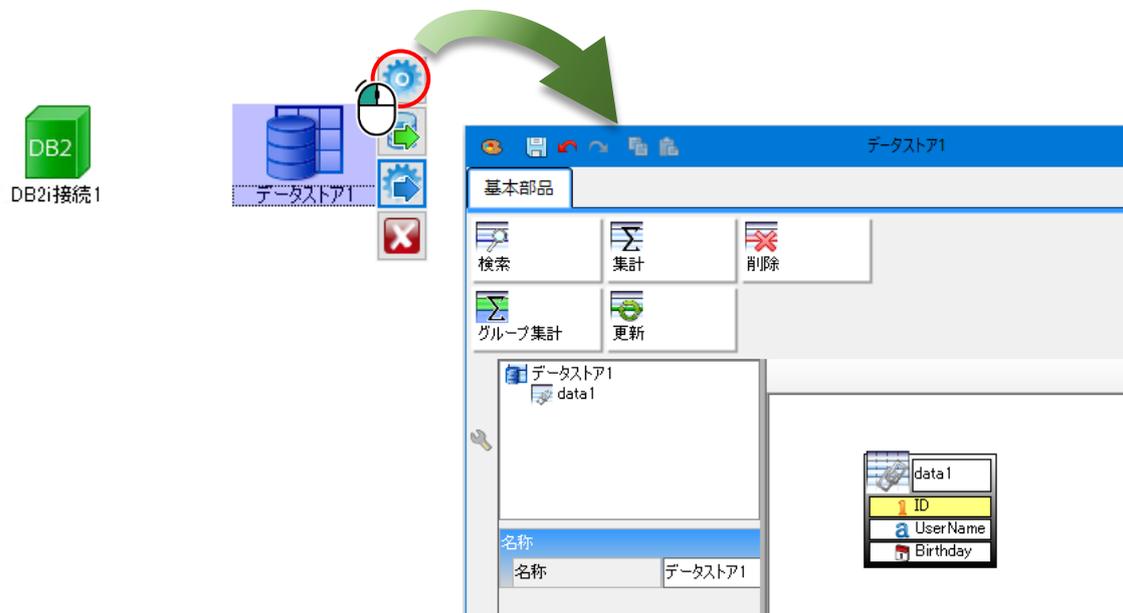
※テーブル名が変更されていた場合、元の参照テーブルは削除されます。新しく変更後のテーブルの参照を追加して、データリンクなどの再設定が必要となります。

※フィールド名が変更されていた場合、そのフィールドを使用したデータリンクの設定は削除されます。

※フィールドがサポート外のデータ型に変更された場合、そのテーブルは自動的に削除されます。

4.4 データベースとの切断

DB2i 接続部品を削除、もしくはデータストアとの参照コネクタを削除した場合、DB2 接続しないローカルのデータストアとして使用することができます。



接続されている場合と同様にテーブル構造の変更はできませんが、初期データの設定は可能です。



5. 部品リファレンス

5.1 DB2i 接続

DB2 for i のデータベースに接続する為のオブジェクトです。

●プロパティ

 名称



オブジェクトの名称を指定します。(標準値: DB2i 接続+連番)

 接続先サーバ



接続先のサーバ名を指定します。

 ポート番号



接続先のポート番号を指定します。(標準値: 50000)
バージョン 3.2 以降廃止されました。

 データベース名



接続先のデータベース名を指定します。
バージョン 3.2 以降廃止されました。

 ユーザーID



接続先データベースのユーザーID を指定します。

 パスワード



接続先データベースのパスワードを指定します。

◇機能

機能はありません。

□イベント

イベントはありません。



DB2 for i 接続プラグイン ユーザーズガイド

2017年 2月24日 第2版

2016年 9月30日 第1版

発行

株式会社 KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2016 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.